



岩越 和也さん
Iwakoshi Kazuya

〔横田区〕

いわこし かずや / 管理棟売店
運営者。8月13日（土）から
熊本甲佐総合運動公園「緑川リ
バーサイドパーク」の管理棟で
食事を提供する。

仲間と甲佐で過ごした時間を 将来、思い出して欲しい

「元気いっぱいスポーツをする子どもたちが、楽しいお昼の時間も仲間との1つの思い出にしてみたら」と話すのは、8月13日（土）から熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」管理棟で

食事を提供する岩越和也さん（横田区）。

町内の飲食店で20年間料理人として腕を磨いた後、令和元年に独立。弁当屋を立ち上げ、ろくじ館などでお弁当や総菜の販売を行ってきた。

同運動公園は、町内外から多くの利用者ににぎわいを見せているが、これまで食事を提供する施設はなかった。町は同運動公園のさらなる有効活用を目指し、交流人口・関係人口の増加を計画。その取り組みの1つとして公園内の管理棟に食事を提供する事業者を募集した。

独立後、大会に出場するチームの子どもたちに弁当を届けていたという岩越さん。「お弁当を食べる子どもたちの満面の笑みが忘れられなくて。私の料理で子どもたちの喜ぶ顔がたくさん見たいと思いました」と応募のきっかけを話す。

現在、岩越さんはソフトクリームやカレーライスなどの食事を提供。事前に予約があれば弁当も提供可能とのこと。「今はまだ品数が少ないですが、今後は地域の食材を活かした商品を提供し、多くの人に甲佐の味を知ってもらいたい」と意気込む。

「充実した時間を過ごして欲しい。試合に負けても最後は笑顔で帰れる。そしてまた来なくなる。この運動公園を子どもたちの思い出に残る場所にしたいです。そのお手伝いができれば」と語る。

「将来を担う子供たちが甲佐町で仲間と過ごした楽しい時間を思い出して、大人になり足を運んでくれたら幸いです」と笑顔を見せる岩越さんは、これから運動公園で元気にスポーツする子どもたちの成長を見守る。

広報 こうさ

2022年（令和4年）9月号
通巻638号